

都道府県 兵庫県
チーム名 曾根青龍野球部、主将
氏名 木谷 駿
投手、遊撃手

決勝戦の先発は、僕でみんなの思いをせお
て投げました。5回表に決勝点が入って僕
が六回と七回のピンチをうでがちぎれそうな
くらいおもいつきり投げました。その結果抑
えれて良かったです。優勝した時は、頭が真
白になって夢見ているかと思いました。
かんじとか、コーチの顔を見ていると涙が
出てきました。正直ここまで来るとは、思
っていませんでした。でもみんな大舞台にな
ると思義と力が出て良くなり、守も、打
りしてくれました。特に五年生は、今まで以
上にがんばってくれました。五年生のみんな
には本当に感謝したいです。お父さんやお母
さん達には、暑い中応援をたくさんしてくれ
て、応援がなかったら負けていたかも知れま
せん。頼りないキャプテンだったけれど良
くなったって来てくれました。
来年も2連覇を目指してがんばってほしい
です。

都道府県 兵庫県
チーム名 曾根青龍野球部
氏名 松下 颯馬

捕手です

全国大会は、僕たちにとって夢の舞台です。雨の中神宮球場で開会式をしました。神宮球場に一步ふみ入れた瞬間、僕たちは、すごい所で開会式をするんだなあと感じました。僕たちのチームは二回戦からで、緊張もしていました。が、ふだんの練習どおりに野球をしたら絶対に勝てると思っていたので、一戦一戦戦声を出して、集中力を切らさないようにして戦いました。南北海道・熊本・愛媛・愛知代表に勝利して、決勝は、三重県代表でした。が、さすがに決勝の舞台に立つと頭が真白になってしまいました。が監督から、目の前の試合を全力で戦えと言われていたのを思い出して、戦った結果が優勝でした。優勝した瞬間は、言葉にできない喜びでした。僕は今、大好きな野球をやれていてとても幸せだと思う。この幸せをあとにせず、一生この野球を続けていきたいです。

都道府県 兵庫県

チーム名 曾根青龍野球部

氏名 村中 章浩 フォースト

ぼくたちの今年の目標は、「神宮へ行つて日本一になること」でした。ぼくも、初練習の日、神社でそうお祈りました。それで予選までの練習を大切にして、予選の市、県ともに勝てました。全国大会は、ここまで来たら勝つ気が大きいチームほど勝つと監督に言われたので全国大会では勝つことだけを考えてプレーをしました。簡単なプレーほどし、かりしようとはく自身は思っていました。このチームは協力しないと勝てないから自分の役割はしっかりとしようと思いのぞきました。結果、一点差の勝負も勝てたと思います。ぼくはこのチームを最高のチームだと思います。応援をおもいきりしてくれる四年生以下、健康管理をしてくれるお母さん、アドバイスしてくれるお父さんやバンチスタッフにあうためて感謝したいです。

この経験を大事に中学でも日本一になりたいです。本当に日本一になれてよかったと思います。

都 道 府 県 兵 庫 県
 市 町 村 曾 根 青 龍 野 球 部
 氏 名 神 澤 広 人

兵 庫 県 曾 根 青 龍 野 球 部 神 澤 広 人

ブー。決勝戦かはりました。体加ふる
 えるぐらいきんちやうしました。この試合は
 きびしい試合になると思いましたが。そのとお
 りとてもきびしい試合になりました。どちら
 のチームにもチャンスはあつてけどそのチャ
 ンスをいかせず4回が終わりました。5回表
 うちのチームのこうげき。打順は7番からで
 す。7番バッターはねばつてフォアボールで
 ノーアウト、一塁の大チャンス。それに続い
 て8番バッターおくりバント成功ノアウトラ
 ンナー2塁。でも、9番バッターが空振り三
 振で2アウト2塁で1番バッターのぼくに打
 順が回つてきました。ぼくはこしかかないオ
 シかきめたる。と思つてバッターボックスに入
 りました。そして3球目なにか高く高めをおも
 いきつてふると芯にあたり打球がぐんぐんの
 ひねットを1バウンドでこしました。野球を
 やつてきた中で一番うれしかつてです。これ
 みで良い思い出になりました。

は夏休

都 道 府 県 兵 庫 県
チーム名 龍 青 龍
氏 名 山 脇 大 輝

みんなでつかんだ日本一
全国大会をどうやって優勝したかと言うと
みんなの心が一つになって、目の前の試合を
一球一球大事に、全カプレーでや。たから優
勝したと思いました。
決勝で感じたたことは、6回のうらでラン
ナー一塁で二ベースを打たれて、二三塁で、
そこが一番きんちやうしました。
優勝した瞬間思。たことは、よっしゃ！と
思。てうれしか。たです。
来年も、この瞬間を、わすれないで、全国
大会を優勝したいです。

都道府県兵庫県
子一人名 曾根 竜野球部
氏名 柳 憲吾

今回の全国大会のなかで、ぼくが一番印象に残ったことは、決勝戦の試合で、七回ウラの守備のとき、一対〇でリードしていたが、六回に続き、一アウト二三塁。次の打者がカシヨートに打って、ぼくがバツクホームに投げ、アウトになっただけです。その時、〇点におさえられてよかったです。

優勝が決まった時、今まできつい練習や自主練をしてきてよかったと思いました。続けることが大事だと思いました。

閉会式で優勝旗を持った時、とてもうれしかったです。

閉会式の後、スタンドにあいさつした時、たくさんの方が応援してくれていました。日本一になれたのは、応援してくれた人・〇Ｂの人・監督やコーチがいたからだと思います。今回みんなといっしょに日本一になったことを忘れずに、これからも野球を続けていきたいと思っています。

ポジション

ライト

都道府県 兵庫県
チーム名 曹根主月
氏名 橋本 辰巳

龍野球部

高円宮賜杯第33回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

なつたぞ日本一

8月6日から8月12日まで全国大会があつた。みんなが目標であつた全国大会で日本一になることができてうれしかつたです。東京に行つて開会式で神宮球場にはいれてよかつたです。一回戦の1打せき目はめづちさんちうしました。二試合目は神宮球場でしました。打つとき足がふるえました。でも中安を打つてよかつたです。三回戦はレフトでエラーをしたけどヒットを打てよかつたです。準決勝は、初めに4点とられて、その次の回4点とつて7回に1点とつて勝つた。決勝戦は、点がぜんぜんとれなかつたけど、ひろとくんが二ベースを打つて1点とつて勝つてゆう勝してうれしかつたです。高砂市にかえつて東の町の人達があつまつてゆう勝をいわつてくれました。来年も全国大会に出て二れんぱをして、高砂市に、ゆう勝きをもつてかえりたいです。

都道府県
チーム名
氏名

兵庫県

前日根青龍野球部

出田 寿希斗

ぼくたちは、ずっと目標に生きてきた神宮球場での全国制覇をすることが出来ました。優勝した瞬間は、とにかくうれしくて、とびあがり、マウンドに全買かけより優勝の喜びを感じました。

この全国大会で、三回戦と準決勝にピッチャーで出場した時、少し緊張したけど、練習どおり投げることに絶対おさえこやうと強い気持ちで投げました。神宮球場でピッチャーを出来たことは一生の思い出になりました。目の前の一戦を必ず勝って決勝までいくぞと、チーム一丸となり決勝までいくことが出来ました。その決勝でぼくは、サードで出場で自分の所に飛んできた打球は全部アウトにしてやうぞと思いやりぬきました。

来年も出場するのでぼくたちが最上級生になるのでチームを引っ張って二連覇をしたいです。この優勝は、かんとく、コーチ、応援してくれた人達のおかげであり、みんなの気持ちが一つになり出来たと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

都道府県 兵庫県
チーム名 曾根青龍
氏名 位田 俊士郎 ポジション フォーワード

うれしかった全国制覇

位田 俊士郎

八月六日から八月三日の六日間、東京で全国大会がありました。ベスト4で愛知県の名古屋ドジャースに初回2点いれられて3回にまた2点いれられて、4回表にピッチャーがかわって、バンバンヒットが出て、4回にやっと同点おこしました。4回まではピッチャーの球が速くてみんなおくれていたけど、ピッチャーがかわってからみんないっぱい打ちました。7回表に1点いれて逆点して、7回うらに0点でおきて試合がおわって勝ちました。うれしかったです。いよいよ決勝で1対0で勝ってうれしかったです。勝ったと決まった時は、夢中だった。初めて全国制覇できてうれしかったです。来年もゆう勝って日本一になりたいです。

都道府県 兵庫県

チーム名 青龍野球部

氏名 橋本大虎 レフト 14 番

「全国大会優勝したことについて」
ぼくは、全国大会で優勝してほんとうにうれしか。たです。この優勝は、かんとか、コ
ーチ、応援してくれた父兄のち々とぼくたちの心が一つになってとれた優勝だと思います
この大会で、一番バに残っているのは、決勝戦の二つのフラインプレーです。ぼくのそ
のときの気持ちは、決勝戦までまたさらに、絶対にミスをするわけにはいかない!!
と心で思い、ひっしてボールを全力でとりに行きました。ボールをとれたときには、や
ったぞ!!と自分でも感動しました。やっぱり気持ちがいじだとこの大会で思いました
最後、日本一になってみんなマウンドでたまあつたし、人かんが言葉にないぐらい本
当にうれしかつたです。この経験は、ぼくにとつて最高の思い出になりました。これから
もこの経験をいかして、野球を全力でがんばっていきたいと思います。

都道府県 兵庫県
チーム名 芦屋市立日野球部
氏名 吉田 零雅 91 ライト

ぼくは、全国大会にはじめてきました。
二年前は、全国大会に行きました。でも三位
でした。そして去年は、全国大会には、行け
ませんでした。でも今年は、全国大会に行け
ました。そして全国大会で優勝しました。野
球を始めながら、今までの中で全国大会を優
勝したことと全国大会に二年連続で行けると
いうことです。それが一番の思い出です。来
年も今年のように全国大会で優勝したいです。
そして来年も優勝してその次の時代も全国大
会にいて優勝してほしいの来年もがんばって
優勝したいです。全国大会は、チームの一人
一人が金力だから優勝できたと思っています。
でも来年も金力を出さずに全国大会を勝って
行きたいです。そして大人の世界もあって優勝
できたと思います。全国大会で優勝できたこと
でもよかったです。そして最後に実習と野球
が出来たことがとてもうれしいです。

都道府県兵庫県
チーム名曽根青龍野球部
氏名 池田大騎

3 回戦目の時にぼくは県大会でも試合にありでれなかつたのにかんとかぼくを試合にだしてくださつてとてもうれしかつたです。かつやくはできなかったけど神宮球場で守つたり打つたりできうれしかつたです。決勝戦では試合にでれなかつたけど優勝したし、かんはともうれしかつたです。来年もマクドナルド・トーナメントにまた出場できるのでもうれしいです。それに優勝できたのは、おうえんしてくださつたみなさんやじいしてくださつたかんとかやいつもささえてくれていた家族のおかげでもあると思います。来年はもっと試合に出てもっとかつやくして決勝戦で優勝するし、かんには神宮球場に立っていたいしもう一度カツプヤトロフイを持ち帰りたいです。

都道府県 兵庫県
チーム名 曾根青龍野球部
氏名 竹篠原陸

全国大会

あこがれの神宮球場に入った時、今までの練習の成果をはっきりするぞと思いました。でも、チーム数、人の多さにびっくりしたけど、せ、たい勝負、たるぞと思いました。一回戦から4回戦までは、試合に出ることが出来ました。うまくいったこともあれば失敗もありました。三回戦の試合で全員で取った11点でこのままいけば優勝出来ると思った。たと思いましたが。決勝戦は、試合に出れなく、よくやしか、たけどその分、一生けん命おうえんしました。そして、勝てマウンドに集まりみんなが大喜びしました。勝てたのは、みんなの協力と、全力でやりました。からだと思いました。優勝したその次の日も日本一だと思おう、うれしいです。夢のようでした。曾根に帰ったら地域の人たちがむかえておめでとうと言、てくれました。すごうれしかったです。

都道府県 兵庫県
チーム名 曾根青龍野球部
氏名 高石しゅん レフト

昔は、もっと弱いチームでした。だけど五年
生からこの曾根青龍野球部と合体しました。
あのゆめのぶたい明治神宮球場で試合がでま
て、とてもうれしいです。それより決勝の試
合グラウンドにきて全員今までで一番勝ちたい
という気持ちが大きかったです。だからあの
試合一対一で勝つたのです。勝たしゅん間
マウンドにいった時全員で日本一の旗をとっ
たぞ。という気持ちになりました。6年生、
しゅんくん、ひろくん、さつまくん、あまこ
るくんたちのためにがんばったぞと思いま
す。今の6年生には、負けたくありません。
だから来年はぼくたちのばんです。
今思います。ぼくたちの青龍は、ゆめのよう
なチームです。日本一のかんとくは、西尾か
んとくです。